

## UNHCR グローバルキャンペーン 難民を支える自治体ネットワーク

(英語名 : Cities #WithRefugees)

### 世界の都市・地域とともに難民支援を

現在、世界の難民（61%）と国内避難民（80%）の大多数が難民キャンプでなく都市部で暮らしている中、難民支援において自治体は UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の最も重要なパートナーの 1 つです。2018 年に採択された「難民に関するグローバル・コンパクト」の中でも、難民支援の最前線に立つ自治体の重要な役割と都市・地域レベルのつながりをもたらす可能性が強調されていることから、UNHCR は 2018 年から世界各地の都市・地域との連携強化を目指したグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク」（英語名 : Cities #WithRefugees シティーズウィズレフュジーズ）を実施しています。

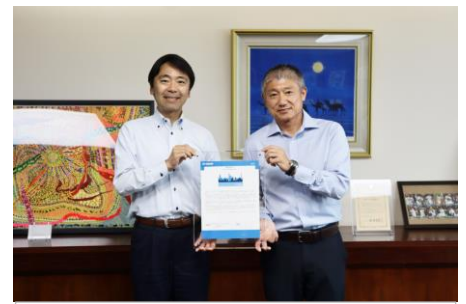
「難民を支える自治体ネットワーク」キャンペーンは、自治体による難民問題に対する行動や支援の表明を通じて、紛争や迫害により故郷を追われた人々に対する連帯を示す活動を促進しています。キャンペーン開始の 2018 年から、難民の保護・支援活動の推進とよりインクルーシブな社会の実現に向けて、これまで 55 か国 287 の都市・地域が参加を表明しています。日本からは、東京都、広島市、文京区、渋谷区、瀬戸内市、札幌市、世田谷区、敦賀市、大村市、横浜市、鎌倉市、中野区が「難民を支える自治体ネットワーク」キャンペーンに参加しています。



参画自治体首長とフィリップ・グランディ国連難民高等弁務官



長崎県・大村市



神奈川県・鎌倉市

### あなたの街も参加しませんか？

あなたの街も、キャンペーンへの署名や SNS での発信、インクルージョン促進プロジェクトの実施などを通して「Cities #WithRefugees」の国際的な難民支援の輪に加わることができます。

#### Cities #WithRefugees キャンペーン参加方法

- ステップ 1: オンライン署名で難民支援への賛同を表明（詳しくは <https://www.unhcr.org/withrefugees/cities/>）
- ステップ 2: SNS でキャンペーンに参加（Cities #WithRefugees を付けて投稿）
- ステップ 3: UNHCR との連携：難民の人権やインクルージョンなどについてのイベントを開催
- ステップ 4: 地域の活動を「難民に関するグローバル・コンパクト」につなげる

### UNHCR とともに難民支援に取り組む

誰 1 人取り残さない、多様でインクルーシブな社会の実現には、自治体が中核的な役割を担う必要があります。UNHCR は、故郷を追われたすべての人がより良い未来を築くことができる世界を目指して活動を続けています。しかし、実現には難民保護・支援活動の基盤をさらに広げることが不可欠だと考えています。**UNHCR とともに難民支援に取り組んでみませんか？**以下、提携案をいくつかご紹介します。

## 「世界難民の日」に参加する



毎年6月20日、UNHCRは世界中の何百万人もの難民の強さ、勇気、忍耐を称えます。日本の都市もこの世界的なキャンペーンに参加しています。2021年の「世界難民の日」には、日本全国23カ所のランドマークがUNHCRブルーに染まり、“インクルージョン”のメッセージを発信しました。あなたの街も、ブルーライトアップや地域の若者・子供などによる難民理解促進イベントの企画を通して、「世界難民の日」に参加することができます。また、難民とは何か、なぜ彼らを支援することが社会にとって重要なのかをより深く理解できるようなイベントも実施可能です。UNHCRは関連するステークホルダーをつなぐこのようなイベントを開催する都市・地域を支援しています。

## 写真展・展覧会

UNHCRは活動の一環として、世界各地で展覧会を開催しています。数々の賞に輝く写真家たちのカメラが捉えた心揺さぶる作品は、故郷を追われた人たちのときに命懸けの物語をより深く知るきっかけとなるかもしれません。

地域の美術館、市役所、大学、図書館やその他公共スペースを写真展や展覧会に活用し、難民支援の輪に参加することもできます。



## 上映会・映画祭



過酷な状況、行き場のない怒り、絶望、その中で見出す希望。どんな困難にも立ち向かい、乗り越え、力強く生きる難民たちの姿に迫る大ヒット映画や自主映画、ドキュメンタリーは数多く存在します。UNHCRの公式支援窓口である国連UNHCR協会主催「UNHCR WILL2LIVE Cinema」の毎年の上映会や映画祭が街の難民問題への関心を高める第一歩となるかもしれません。趣旨に賛同する大学や企業、団体がUNHCR WILL2LIVE パートナーズとして、自主的に映画上映会を開催する動きも全国に広がっています。

## 地域の活動を「難民に関するグローバル・コンパクト」につなげる

UNHCRは自治体やその他ステークホルダーに対し、「難民に関するグローバル・コンパクト」の目標達成に向けて、難民や受け入れコミュニティに具体的な利益をもたらすような誓約や貢献を継続して行うよう呼びかけています。これには、資金、物資、専門知識、再定住先の提供や第三国による補完的な受け入れの推進などが含まれます。また、難民の受け入れを促進するための政策や新たな取り組みの導入なども含まれます。これまで128か国で1,579件の誓約がなされています。「難民に関するグローバル・コンパクト」の目標達成に向けた誓約を表明した都市・地域の優れた事例は共有および拡散し、2023年開催予定の「世界難民フォーラム」に向けて新たな自治体の誓約や難民問題への取り組みを促します。地域の取り組みを世界に向けて発信し、各国の都市や地域とつながってみませんか？

まずはこちらから：

- 誓約書の準備：** [globalcompactrefugees.org](https://globalcompactrefugees.org) からテンプレートをダウンロードし、誓約書を用意する。誓約・貢献に関する案内や共同誓約の作成方法など、具体的かつ有意義な誓約書の準備に関する情報は上記ウェブサイトからご確認ください。
- 誓約を表明：** テンプレート (Word) で誓約書を作成し、[hqcr@unhcr.org](mailto:hqcr@unhcr.org) に提出。誓約書はグローバル・コンパクトのウェブサイトに掲載され、このプラットフォームを通じて、誓約や貢献を表明している何百もの国、団体、企業、難民、その他の地域ネットワークの輪に加わります。
- つながる：** 誓約や貢献、プロジェクトの規模にかかわらず、難民と受け入れコミュニティの支援に取り組む都市や地域と交流してみましょう。他の誓約を参考に新たな誓約を検討したり、互いの誓約の履行状況を定期的に共有することもできます。

## 国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所

〒107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 ウェスレーセンター

TEL : 03-3499-2011

E-mail: [jpntopi@unhcr.org](mailto:jpntopi@unhcr.org)



<https://www.unhcr.org/jp/>



@unhcrorjp



UNHCR\_Tokyo